



グリーンポトスニュース

10号：98年6月

6月5日にて、かめざわクリニックは2周年を迎えます。ペインクリニックというきわめて専門性の高い診療から、風邪をはじめとする急性期疾患や高血圧、糖尿病などの慢性期疾患まで、これからも地域医療に少しでもお役に立てればと思っております。そこで今月のお話はペインクリニックの主な治療手段である『星状神経節ブロック』です。

星状神経節ブロック

ペインクリニックでは様々な神経ブロックを使います。その数は60種類以上にもなります。病気に応じてそれぞれのブロックを使い分けるのです。その数あるブロックの中で、今日もっとも数多く行われているのが、今回お話する星状神経節ブロックです。このブロックははじめ頭痛や顔面神経麻痺などの治療しか用いられていませんでした。しかし、星状神経節ブロックをすることにより数々の病気が治ることがわかってきました。200以上の病気が治るとも言われています。200というのは少しおおげさな気がしますが、星状神経節ブロックが有効な病気として、先ほど話した頭痛、顔面神経麻痺の他に、花粉症、アトピー性皮膚炎、自律神経失調症、突発性難聴、肩こり、上肢の血行障害、メニエール病、帯状疱疹後神経痛、生理痛などがあります。では、なぜこのようにたくさんの病気に星状神経節ブロックは有効なのでしょう。神経ブロックは、血行を改善することによりいろいろな病気を治療することは以前にもお話ししました。血液は、酸素とともにいろいろな栄養素を運んできます。そのため、血行を改善することによりさまざまな病気が治るのです。星状神経節というのは、頸椎の第7番目の横にあり、頭部と、肩や上肢にいく血行を支配しています。そのため、星状神経節ブロックは、頭部の血行つまり、脳の血行を改善します。脳というのはご存知のように自律神経系、免疫系、ホルモン系を支配しています。それらは、脳の一部である視床下部 - 下垂体系で制御されています。星状神経節ブロックは、視床下部 - 下垂体系の血流を増やすのです。そのため、上記の病気に有効なのです。星状神経節ブロックは、病気そのものを治すというより、脳の血行を改善して自然治癒力を高め、病気を治すお手伝いをしているのです。

